19日本国特許庁(JP)

40特許出職公表

@公表特許公報(A)

 $\Psi 4 - 504433$

●公表 平成4年(1992)8月6日

@Int, CL.*
C 09 D 201/00
C 03 C 17/32
C 08 L 33/06

単別記号 PDC A LJG

庁内整理番号 7167-4 J 7003-4 G 7242-4 J ※ 審 査 請 求 未請求 予備審査請求 有

部門(区分) 3(3)

(全 4 頁)

公発明の名称 保護被覆用重合体水性組成物

●特 順 平2-503691●2出 顧 平2(1990)1月18日

●翻訳文提出日 平3(1991)7月23日 ●国際出版 PCT/US90/00356 ・ ●国際公開書号 WO90/08165 ・ ●国際公開日 平2(1990)7月28日

優先権主張 ②1989年1月23日会米国(US)到299,632

②発明者 グロガン, ジョージ、ウイルバ

アメリカ合衆国テキサス州、ダラス、ローズクリフ、ドライブ、89

51

の出 駆 人 グロガン,ジョージ、ウイルバ

アメリカ合衆国テキサス州、グラス、ローズクリフ、ドライブ、89

51

の出 顋 人 ポイド,ロパート、ホワード

アメリカ合衆国テキサス州、グラス、アシユウッド、11216

B代 理 人 弁理士 佐藤 一雄 外2名

愈指 定 国 AT(広域特許), AU, BE(広域特許), BR, CA, CH(広域特許), DE(広域特許), DK(広域特許), ES (広域特許), FR(広域特許), GB(広域特許), IT(広域特許), JP, KR, LU(広域特許), NL(広域特許), SE(広域特許)

最終質に続く

請求の英語

- 1. 非揮発性および薫発性対料の混合物からなり、 非揮発性材料が構物剤0.1%~0.6%、温潤助剤 0.1%~0.6%、分散助剤0.1%~0.8%、可 型剤および融合助剤0.1%~2.5%、リリース助剤 7%~15%、製置34%~54%、進化剤1%~5% および水28.9%~56.5%を包含するものである、 保護被獲用量合体水性組成物。
- 2. 漫画動剤がナトリウムカルボキシル化ポリエレクトロールを包含する、請求の範囲第1項に記載の保護 被採用重合体水性組成物。
- 3. 超問助剤がフェノキシボリエテレンオキシエタ ノールおよびノニルフェノールポリエテレングリコール エーテルをも包含する、糖水の範囲第2項に記載の保護 被理用量合体水性組成物。
- 4. 新組成物がリリース剤としてのワックスおよび 設防施のコロイド状態合物と組合されて高い耐水性を育 する、請求の範囲第3項に記載の保護被使用量合体水性 組成物。
- 5. ワックスがパラフィンワックスおよびポリマー ワックスを包含する、請求の範囲第4項に記載の保護被 原用重合体水性組成物。
 - 6. 硫化剤がヒドロキシエチルセルロースを包含す

- る、政家の範囲第5項に記載の保護被復用重合体水性組 成物。
- 7. 級化剤がアクリル系水性分散液を包含する、間 水の範囲第5項に記載の保護被使用重合体水性組成物。
- 8. 機化剤がヒドロキシエチルセルロースとアクリル系水性分散液の混合物である、糖求の範囲第5項に記彙の経緯値度用重合体水性組成物。
- 9. 分数助剤がジオクチルナトリウムスルファスクシネートである、請求の範囲第8項に記載の保護被循用 宣合体水性組成物。
- 10. 分散助剤がジオクチルナトリウムスクシネートである、請求の親団第5項に記載の保護被援用重合体水性組成物。
- 11. 分数助剤がジオクチルナトリウムスクシネートである、油水の範囲第1項に記載の発掘装置用重合体 水体組成物。
- 12. 可能用がジプテルフタレートを包含する、禁 求の報告第9項に記載の保証被提用混合体水性組成物。
- 13. 可避剤がジプチルフタレートを包含する、請求の範囲第5項に記載の保護被循用重合体水性組成物。
- 14. 可避剤がジプチルフタレートを包含する、糖 水の範囲第1項に記載の保護被理用重合体水性組成物。
- 15. 融合助用が2,2,4・トリメチルベンタン ジオール・1を包含する、請求の範囲第12項に記載の

g **a**

品理被贸用综合体水性组成物。

- 16. 融合動剤が2.2.4・トリメテルペンタン ジオール・1を包含する、請求の範囲第5項に記載の保 連載程用賃合体水性組成物。
- 17. 融合助用が2,2,4・トリメテルベンタン ジオール・1を包含する、請求の範囲第1項に記載の保 維管理用宣合体水性組成物。
- 18. 融合助剤が3・モノイソプチレートをも包含する、請求の範囲第15項に記載の保護被使用量合体水件組成物。
- 19. 融合助剤がグリセリンをも包含する、請求の 概器第18項に記載の保護被復用重合体水性組成物。
- 20. 融合助剤がグリセリンをも包含する、糖末の 概因第15項に記載の保護被関用重合体水性観点物。

保建被理用重合体水性组成物

この発明は、一般的には、保護被覆に関する。 ちらに 具体的には、この発明は、ガラス、金属、ゴム、コンク リート機の表面およびプラスチャク、非多孔性または強 被済み表面で確認の影響を受けていないもの、に使用し たときに一時的な保護被覆、すなわち易到離性の被覆、 を形成するための重合体水性組成物に関する。

住居用および商業用を関わず新しい強連物の情報は、新しい強連物用に業として情報サービスを提供している者にとっても、。実に問題となることである。車の情報をより容易にかつより達く実施するためのものに対してない。多くの物質が試えるのに対し、それにはクリスコ(Crieco)およびピーナツ抽さえの関語が応じ、しかしこれらについてはちののとなったのであるが、しかしたものについてはちののとなったがある。すなわち、これらのあるもので数とと対したり、比替したりした動揺。モルタル、最初とは下したり、比替しながで異似まれるので、表面保護のために収がしたができる。この材料は、がラス、全員、ゴム、コンクリート様の表面およびプラスチックの非

孔性ないし塗装表面で一般に排媒の影響を受けていない もの、そ一時的に被撻して保護費を形成する。すなわち、 この保護裏は、施工中にそのうえに抗着した箜篌、モル タル、絶、およびダストまたは他の異物と共に容易に對 が取ることができるものである。この一時的の保護被覆 は、カミソリの刃やガラスを傷つけあるいはガラスを破 損させることのある研察洗浄剤の使用を大きく低減させ る。施工中に砂、モルタルおよびセメントならびに他の 単物をガラスに直接触れるせないことによって、損傷が ラスを繰り傷のない非敬扱ガラスと取り替えあるいは (かつ) ガラスを磨くという費用のかかるサービスが低 被される。これによって、取替え要用の低級ならびに多 くの場合に滑掃回数の低減もできて、大きな節的が得ら れる。長到離性の一時被覆として、本材料はプラステッ ク報層材(formica) 、セラミック(指摘)、戦器、大理 石、ステンレス側、繋およびアルミニウムに連用され、 また石橋在線(abatement) の助けともなる。

本材料は、一時的保護被覆以外に適用するのにも有用である。すなわち、これは多孔性素材に噴霧しあるいは 投資によって適用することができ、あるいは場合によっては本被裏材中の海体と相互作用する物質の表面に対し できえ使用することができる。本材料は、木材に対して、 製能性のある一時的被覆からなる保護表面を与える。

従って、この鬼柄の主目的は、さもなれけば付着して

しまう要価から制度する性質を所望の程度に具備する表 団を有する重合体水性組成物被覆材料を提供することで ある。

他の目的は、ガラスおよび他の材料を建築施工中また は改装中に損傷から守ることである。

さらに他の目的は、第工後の推荐をスピードアップすることである。

ならに他の目的は、第二後の清掃費用を低下させ、ま た清掃作業を容易にすることである。

これらの目的を達成するのに有用な本売明の特色は、 保護被雇用重合体水性組成物において、排准制を 0.1 %~ 0.6%、延縮財利を 0.1 %~ 0.6%、分飲助 剤を 0.1%~ 0.8%、可要剤および融合助剤(coals scent)を 0.1~ 2.5%、リリース助剤を 7 %~ 1.5 %、複数を 3.4%~ 5.4%、進化剤を 1.5%~ 5.4%、 変ましい一時的保護被覆を与えるために分散を、 でいる際は、大性質合体組成物 (エマルジョンル、エテレンル系の は、水性質合体組成物 (エマルジョンル、エテレンル系の は、水性質合体組成物 (エマルリール、エテレリル系の は、水性質合体組成物 (エマルリール、エテレリル系の は、水性質合体組成物 (エマルコール、エテレリル系の は、水性質合体組成物 (エマルコール、エテリリカ は、水性質の 1.2%では、 レンドからなり、これらの一部または全部は分割た とえばジオクチルナトリウムスルプリエチレンオキレ よび最調助剤だたとえばフェノキシポリエチレンオキレ

特表平4-504433(3)

olyethysaosoxy)エタノール、ノニルフェノールポリエレクトロール、グリコールエーテルおよびナトリウムカルポキシル化ポリエレクトロール、ならびにある種の可能剤および融合助剤にとえばグブチルフタレートおよび2、2、4・トリメチルベンタンジオール・1、3モノイソプチレート(sonisobutyrate)およびグリセリン、とプレンドされている。値或物は、次いで、パラフィンファクス、ポリマーファクスおよび遊ばれた預防権モリリース剤として分散させて、高度の耐水性を与える。この組成物は選ばれた適化剤にとえばヒドロキシエチルセルロースおよびアクリル系水性分散核、ならびに預複剤にとえばシリカの石油中分散核、ならびにグリコールたとえばプロビレンおよびエテレンをも包含する。

好ましい実施整様において、本売明の最合物は、序拝 発性材料の最合物を41%~71%ならびに採売性およ び無発性材料29%~59%(重量%)を含んでなる。 この存揮発性材料には、リリース助剤7%~15%およ び樹脂34%~54%、預施剤0.1~0.6%、温潤 助剤0.1%~0.6%、分散助剤0.1~0.8% よび液化剤1%~5%、が包含される。採売性および蒸 発性材料は、可型剤および融合助剤0.1%~2.5% および水28.9%~56.5%を包含する。

この水性重合体分散液 (エマルジョン) の非揮発性の 部分において、樹脂はピニルアクリル系、ポリピニルア

たとえばガラス上に形成させるときには、数分ないし数 時間(空気の乾燥度および印加した無により変る)で厚 免性成分および水が銀合物から真質的に高発して、剥離 可能な形形の保護験が形成される。被状のこの組成物は、 暖雾、浸液、あるいはハケ塩りによって、耐難膜材で保 湿すべき表面に塗布される。

本発明は組成物理合物の変化しうる要素の範囲に随識 して説明したが、各種の変更が本発明の数示による当業 界への本質的な等与から逃離することなく可能であるこ とを関解すべきである。 ルコール、エチレンピニルアセチート、ピニルアクリル 系およびアクリル系のプレンドである。その一部または 全部は、分数助剤たとえばジオクチルナトリウムスルフ ァスクシネート、湿潤助剤たとえばフェノキシボリエチ レンオキシエタノール、ノニルフェノールポリエレクト ロール、グリコールエーテル、およびナトリウムカルボ キシル化ポリエレクトロールとプレンドされる。可要減 および融合動棄もまた本分散波にプレンドされ、グブチ ルフタレートが可認剤として、2、2、4・トリメテル ペンタンジオール・1、3・モノイソプテレートおよび グリセリンが融合助剤として、プレンドされる。 組成物 は、次いで、コロイド組合物としてのパラフィンファク ス、ポリマーワックスおよび遊ばれた動物値をリリース 無としてプレンドされて、高度の耐水性を与える。この 組成物は、また、遊ばれた葉化剤たとえばヒドロキシエ チルセルロースおよびアクリル系水性分散液、および梢 塩制たとえばシリカの石油中分散被およびグリコールた とえばプロピレンおよびエチレンを包含する。

下記の事例に再度注目されたい。すなわち、無意性および無見性材料はジプチルフタレートを可重用として、 2、2、4・トリメチルペンタンジオール・1、3・モノイソプチレートおよびグリセリンを融合助剤として、セして水を無角性材料として、包含する。上記のような構成の混合物全体を表記に収算させて、料能性無理課を

西萨男士电台

ECT/0890/00356 DT. CL.(3) Chir 1/16, 2/17 (MAY Y/78) (DOX 3/07, 3/09, 3/42; CORE 29/04 31/04 U.S. CL. 324/20,44,800,801,803,803 124/30,44,800,601,802,803 U.S. C. termentary Suppres ofter Francis to Laure that out Oncompite or b A, 4,632,847 (LCMANNEY et al.) 30 December 19 electrolyte). ZI. A. 4.179,514 (MARKETT) 13 Pubrusry 1979 (See col.6, line 16 and col.6, lines 60-61 for surfactants discryl sedim sulfa succisate and discryl sodium numerical. 9.10.11 ¥ 12,13,14 ¥ CB, A, 4,731,402 (PRECEL et.al.) 15 MARCH 1986 (See cpl.3, Limes 6-6 for acrylic equates disp as thickness) 7.0 15-20 US. A. 4,542,226 (COUNTES et. al.) 31 December 190 (See col.4, lines 1-5 for coalescing aids). The second section of the second section of 26 APR 1990 ISA/IS

第1頁の続き

倒Int. Cl.* 戦別記号 庁内整理書号 C 09 D 5/00 PPT 6504-4 J 5/20 PQT 7211-4 J 101/26 PCV 6770-4 J

砂発 明 者 ポイド,ロパート、ホワード アメリカ合衆国テキサス州、グラス、アシュウッド、11216